

## 対策事例10 モウソウチク

内 容	県と民間団体の協働によるモウソウチクの駆除活動
実施地域	茅原沢自然環境保全地域（愛知県岡崎市）
実施期間	平成22年～継続中
実施主体	愛知県環境部自然環境課、ブラザー工業株式会社、地元関係者
メ モ	国や都道府県が指定し、全国に500か所以上ある「自然環境保全地域」において、その保全活動を社会貢献活動として企業が実施した初めての事例です。

### 【対象種の概要】

モウソウチクは中国原産の移入種で、愛知県の条例公表種です。日本には1700年代に持ち込まれ、竹材やタケノコとして利用されてきましたが、近年はこれらの利用が減少し、管理放棄されて、竹林が周辺の森林にまで分布を拡大しています。モウソウチクは成長が早く、地下茎で分布範囲を広げていくため、いったん侵入すると急激に繁茂し、周辺に自生する在来の植物を被圧します。

### 【防除の背景】

茅原沢自然環境保全地域は、岡崎中央部の乙川沿いにあります。アラカシを主とする常緑広葉樹とコナラなどの落葉広葉樹からなる林の中に、ヒメシャラやオオズミのような山地で見られる貴重な樹木が点々と自生しています。標高が40mから110mの低地に位置しながら山地で見られる種が自生するのは、県内では稀なことです。

平成10年頃からモウソウチクが林中に侵入し始め、年々分布域を広げ、ヒメシャラなどの自生種に衰退傾向が見られるようになりました。



## 対策事例10 モウソウチク

### 【取組内容】

ブラザー工業株式会社が、社会貢献活動の一環として、県・地元関係者と協定を結び、茅原沢自然環境保全地域の一部（約2ha）で環境保全活動を実施することになりました。

これまでに、平成22年9月に竹の伐採、平成23年4月にタケノコの駆除、平成23年11月に竹の伐採を行っています。

平成23年11月の活動では、地元の森林組合がモウソウチクをチェーンソーで切り倒した後、ボランティアの参加者が玉切り（枝を落とし、運搬しやすいように2mほどの長さに切断）にしました。これまでの活動などで伐採し、短く切って林内で乾燥させていたモウソウチクの運び出しも行いました。



### 【工夫点】

- ・活動にあたっては、専門家の指導を受けて活動計画を作成しています。
- ・ボランティアの参加者と森林組合で作業を分担することで、事故防止に努めました。
- ・伐採した竹は、専門業者によって消臭、調湿などの効果がある竹炭にされ、土壤改良材などに利用されています。
- ・平成23年11月の活動では、モウソウチクの伐採後に竹製の植木鉢づくりを行っています。
- ・今後も活動が継続できるよう、伐採活動の他にも、茅原沢の自然観察会や、竹細工などの企画を予定しています。

### 【結果】

- ・モウソウチクの伐採を行い、明るくなった場所にはヒメシャラの幼木が見られるようになりました。

### 【課題】

- ・防除を行っていますが、成長の早いモウソウチクが周囲から侵入することを食い止めることは未だできていません。今後も竹の伐採とタケノコの除去を根気よく続けていく必要があります。